

金木 だより

発行 青森県金木町役場
編集 企画室

昭和54年11・12月合併号



町営住宅
まもなく完成

本年度は二十戸の住宅が大東ヶ丘通りに、総工費一億一千万円で建設されています。完成は来年二月……

晩秋の青空に 華やか六名の受章者 — 祝賀会には百名が出席 —

●勲五等瑞宝章

故中村健司氏

このほど、昭和五十四年の叙勲・褒賞等の受章者が発表され、当町からは六名が受章されました。

また、祝賀会は十二月一日、金木町中央公民館で百名が出席して行われました。

受章された方々の功績等は次のとおりです。



(大橋忠雄氏)



(故中村健司氏)



(木下無市氏)



(吉崎由光氏)



(丹場多左衛門氏)



(今与八郎氏)

●勲五等瑞宝章
大橋忠雄氏

昭和二十年より製材業を営むかたわら、金木町長、県商工会副会長、全国私立高等学校連合会副会長等を歴任されたほか、昭和二十六年より現在まで北津軽製材組合長及び県製材協同組合連合会副会長として活躍され、産業の発展に寄与された功績により受章。

●勲六等瑞宝章

吉崎由光氏

昭和十年四月嘉瀬村消防組消防手を拝命、以来昭和

四十七年三月に退職されるまでの三十七年間、班長、副分団長として活躍された功績により受章。

●勲七等青色桐葉章

木下無市氏

昭和八年四月嘉瀬村消防組消防手を拝命、以来昭和四十四年九月に退職されるまでの三十六年間、班長・副分団長として活躍された功績により受章。

●藍綬褒賞

今与八郎氏

昭和七年より建設業を営む一方、喜良市村議会議員



(祝賀会で挨拶する大橋町長)

喜良市村消防団長、県建設業北五支部長等の要職を歴任された他、昭和二十八年三月から現在まで金木地区交通安全協会長及び県交通安全協会理事として活躍され、交通安全に寄与された功績により受章。

●卓越技能章

丹場多左衛門氏

四十四年間にわたり曲げ物人生一筋に歩み、特に本県ヒバ材を使った特産品の開発等産業の発展及び技能者の育成指導にあたり、現代の名工として認められ受章。



納税は便利な
振替納税で

所得税の便利な納税の方法として、銀行などの預金口座から、振替えによって納税する振替納税の制度があります。

○こんなに便利

納期がくるたびに取引している銀行や郵便局まで、わざわざお出かけにならなくとも、自動的に納税できます。お仕事の忙しい方、ご不在がちな方には特に便利です。

○手続は一度で簡単

「口座振替依頼書」と「納付書送付依頼書」をご希望の金融機関又は税務署に提出していただきます。

○納付書は直接金融機関へ納期になりますと、納付書は税務署から直接ご指定の金融機関へ送られます。

○領収証書は金融機関から
ご指定の預金口座からの納税が済みますと、領収証書は金融機関から直接お手もとに届けられます。

ご不明の点は、税務署又は銀行などの窓口にご相談ください。



(3保、すみれ組のみなさん)

(川倉児、さくら組のみなさん)



わたしたちを
交通事故から守ってね!
(その4)



(1保、ゆり組のみなさん)

(2保、たんぼ組のみなさん)



町の話題

- 次の方々より金木町社会福祉協議会へ寄付がありました。
- 金木高校JRCさん (一万五千五百三十四円)
- 黒滝亜貴子さん・長利ルリ子さん (二千円)
- 大橋豪さん (二千円)

● このほど川倉小学校(藤田与左エ門校長)が、財団法人日本学校体育研究連合会主催による第十八回全国学校体育研究大会において全国表彰を受賞されました。これは、日ごろから地区ぐるみで体力づくり教育を行ってきたのが認められたものです。

● 喜良市地区子供会(会長 岡田強君)は、県子供会育成連合会並びに県教育委員会より表彰されました。子供会では、子供会育成会(米谷悟会長)の指導のもとに、活発な活動を展開しており、それが認められ今回の表彰となったものです。

「麦の会」



芦野団地の主婦で何んでもやってみようとしたのが私達の会「麦(むぎ)の会」です。

会員は、現在三十名。月一回の会合ですが、隣り近所誘いあつて全員が集まってくれますので、成果も上がり、今では、茶道・花道・手芸・手工芸など多くのものができるようになりました。

また、町の保健婦に出席していただいたの健康相談では、日常心がければなおせることなどを知り、とても役立っております。



グループ紹介①

美女酒一代記

大きな稲二才が屋敷内にまるで大山が幾つも出来たように積まれていた。大二才一つに八人役の刈り取った稲が積まれたという。それが数えると十六もあつた。それに借子(かりこ)四人

馬三頭を持つこの千三郎の家は、金木一の大田作りで名を知られた大農である。明治三十五年、まだ日露戦争前の頃の話である。

この家の若旦那千之助に花嫁を貰うことになり、近郷近在ではその祝言の豪勢さが話題をさらつた。それもそのはず、花嫁は飯詰村の旧家として名高い朝日十郎兵衛家の長女なのだ。美人である上に、裁縫はもちろん読み書きにもすぐれるという才媛だから、文字通りの三国一の花嫁さんである。

さて、その嫁入り当日である。嫁入り道具は馬の背で運ばれるのだがそれはそ

れは長い行列で、見物人の度胆を抜いた。「嫁いぐであ……」と威勢のよいふれ声に、いよいよ花婿の千三郎が近くなつた。

宰領は、その家の十町も手前で、馬子たちに命じて馬から道具をおろさせた。幾棒かのタンス、長持には家紋の付いた覆いがかられていたが、それを担木(たんぎ)に通して、印半天の若者に担がせた。村人たちがたくさん並んで見物する中を、馬に乗つた宰領が先頭となり、それに若者たちがつづいた。

「ソーラ、嫁いぐであ……」
大名行列にもおとらぬほどの美々しくはなやかなものだった。

花嫁は雪色よりも白く、それに綿帽子、打ち掛けという美しきで、村人にとってはおとらぬものだった。

た。金木の町でも山源や池屋様でなければこんな嫁入り姿は見られない時代のことである。

さて、この花嫁のことが、彼女が名家の娘として乳母日傘で育つた。そして七つ八つの頃からどうしたものか酒の味を覚えてしまった。家の人たちも娘可愛さからたわむれに酒をのませたのかも知れない。酔つてフラフラして座敷の中をじゃれて遊ぶのを、可愛さのあまり放つておいたのがやみつきになつてしまったのだ。そして水のかわりに酒をのむようになったのである。

十四才の時、娘は五所川原の裁縫塾にかよふことになった。もちろん女中がお供してゆくのだが、女中は水筒に酒を入れていたのである。酒が切れるとほんやりしてしまうというのだから、アル中になつていたのである。とても水筒の酒ぐらいでは足りなくなるから帰りに五所川原の町端れの居酒屋に入つて飲んだ。

こゝろなるとあたら才媛もまはやおナゴの酔っぱらいになつてしまふ。居酒屋の店先で大の字になつて眠るというさわぎになる。そこで女中はしかたなく馬車を雇つて帰宅した。そんなことが幾度となくあつたが、なにしろ名家の娘さんのことだけに、口止めされてい

たとのことだ。とにかく十五・十六の花はつぼみの美女のアル中が出来あがつてしまつたわけだ。

嫁入り先の千三郎家でも「嫁御寮」がアル中だとは知らない。なかなかさげばけていて「御酒」も少しはたしまれるというぐらいは聞いていたが、そんな風だとは露知らなかつたのだ。花婿千之助は、顔だちのよい男前で、背丈も高く、人柄もよい人であつた。彼もつきあい酒は人並みに飲む方なので、嫁に来てからむ方なので、嫁に来てから彼女が酒好きであることがわかつて最初は余り気にしなかつた。しかし嫁は少しぐらいの酒では足りないので、流し場の水がめの傍に酒がめをおいて、のどがかわいたといつてはヒシヤクで酒をのんでいたという。

そのうち夫の方も彼女とつきあつて酒を飲んでるうちに、これまた強酒になつた。そして夫もまた競争するように、店酒(みせぎけ)をつづけるようになった。

彼女は子持ちになつても酒は止められず、むしろますます強くなつて。そして町の居酒屋で酔いつぶれて家から迎いを受けるのが日課のようになってしまつた。器量抜群で、しかも三十二、三という女盛りの彼女のあて姿は、行きあう人がみんな立ち止つて振り向いたという。

でも彼女は七十幾つで世を去るまで酒は一日も止めなかつた。

もっとも彼女の酒は、世間様に迷惑をかけることがなかつたが、生涯酒をいちとして生きたのである。とにかくいわるすれっからしのオナゴ酒飲みとは違つていたのは、その育ちのせいであろうか。

彼女が嫁に来る前に、同家から分家になつた方々は十指を数え、いづれも降々として榮えている。これを記したことで一門の方々のお許しを乞ふ次第である。しかしこの話は年をとつた人々にとっては忘れがたい語り草として、これからは語りつがれるものと思う。

(「金木郷土史」より)



木村 英樹 (繁孝) 金木
阿部 定美 (好昭) 金木
前田 祥子 (晃) 金木
吉崎 雅彦 (利春) 嘉瀬

ご誕生
おめでとう



戸籍の
窓口

義務を果たそう！
農委選挙人名簿に
登載の申請を

お知らせ

農業委員会委員選挙人名簿の登載申請は、1月10日までに農業委員会を経て選挙管理委員会へ提出することになっております。

申請をしませんと、名簿に登載されない場合があります。申請をしませんと、その後1年間名簿には登載されませんので、必ず申請して下さい。

なお、登載申請には10アール以上の耕作をしている等の要件がありますので、詳しくは選挙管理委員会か農業委員会へお問合せ下さい。

富士 美季 (勝則) 金木
中谷 公紀 (時正) 川倉
秋元 康弘 (照治) 嘉瀬
山田 真実 (正男) 喜良市
加藤由香里 (富雄) 喜良市
奈良 泉 (新一) 喜良市
岡田 博幸 (忠幸) 喜良市
内海由利子 (清久) 嘉瀬
福士 力 (六千雄) 金木
鎌田美香子 (孫春) 嘉瀬
古川 亜希 (隆男) 喜良市
山川 真史 (寿夫) 金木
泉谷 圭省 (博治) 川倉
桑田 久光 (茂) 喜良市

花田久美子 (新一) 嘉瀬
三上 淳之 (廣美) 金木
石戸谷清仁 (廣) 金木
今 英士 (公敬) 喜良市
其田 光正 (晃) 川倉
大橋 千春 (年行) 喜良市
村田 達哉 (秀俊) 藤枝

ご結婚
おめでとう



不在者投票の請求を
町議会議員選挙

来年2月29日で任期満了となる町議会議員の選挙は1月30日から2月28日までに行われますので、出稼ぎなどで町を出る人は選挙管理委員会です不在投票の請求をして下さい。

もし請求をせずに働きに出て、選挙期間に入ってからあわてて請求をしても、不在者投票が間に合わないことがありますので、早めに請求して下さい。

石戸谷 隆 (清繁) 嘉瀬
前田 竹彦 (勇悦) 神ヶ原
津島 高雄 (態太郎) 金木
石戸谷 まり子 (誠) 金木
横田 道明 (繁一) 横濱市
大橋 栄子 (喜八郎) 喜良市
天野 圭二 (彌助) 北海道
成田 登 (善蔵) 嘉瀬
佐藤 鎮子 (欣藏) 嘉瀬
長尾多希子 (新一) 宮崎県
長尾多希子 (タマヨ) 金木

赤星 弘喜 (弘文) 山口県
横山秋枝 (金四郎) 喜良市
田井 文夫 (益水) 高知市
伊丸岡 紀子 (貞) 喜良市
工藤 敏文 (清三) 嘉瀬
伊藤 愛子 (竹雄) 金木
秋元 洋子 (義一) 中里町
古川 綱子 (裕忠) 中里町
佐野 綱子 (繁範) 中里町
古川 洋子 (兵一) 中里町
横田 道明 (繁一) 横濱市
大橋 栄子 (喜八郎) 喜良市
天野 圭二 (彌助) 北海道
成田 登 (善蔵) 嘉瀬
佐藤 鎮子 (欣藏) 嘉瀬
長尾多希子 (新一) 宮崎県
長尾多希子 (タマヨ) 金木

町の人口と世帯数

男	7,275人
女	7,471人
計	14,746人
世帯数	3,875世帯
(S54. 10. 31現在)	

古川市五郎 (71) 喜良市
竹内 キヨ (76) 藤枝
其田 藤十郎 (58) 川倉
小野 きく (77) 金木
田中 助一 (65) 金木
伊藤 武美 (43) 嘉瀬
工藤 岩五郎 (78) 藤枝
神島 安次 (76) 嘉瀬
工藤 三郎 (89) 嘉瀬
北川 タマ (80) 金木
工藤 勝晴 (37) 喜良市
太田 誠司 (27) 金木

おくやみ
申しあげます



飯沼 雅一 (貢) 東京市
高橋 信久 (唯勝) 喜良市
桑田 孝子 (敏夫) 喜良市
伊藤 秋美 (貞光) 嘉瀬
中村 惠美子 (貞久) 嘉瀬
平野 洋子 (定道) 愛媛県
八藤 憲明 (満信) 九州市
齊藤 美子 (義昭) 嘉瀬
花田 志保子 (松太郎) 平内木